

(社) 土木学会 土木技術映像委員会 主催

第52回 イブニングシアター 異常気象多発—水害と水防を考える—

平成21年10月21日(水) 17:30開場 18:00開演

「昭和34年 伊勢湾台風」

監修:名古屋大学大学院 教授 辻本哲郎 協力:語り継ぐ伊勢湾台風の会
企画 (社)中部建設協会 制作 (株)日映映像 2009年9月 22分

昭和34年(1959年)9月26日、東海地方に未曾有の被害をもたらした伊勢湾台風。その実態、緊急対策、災害復旧等を網羅し、復旧に向けた地域の不屈の努力と共に、伊勢湾台風土木技術者がどう立ち向かったのか。当時の建設省職員等のインタビューと記録映像によって描きます。

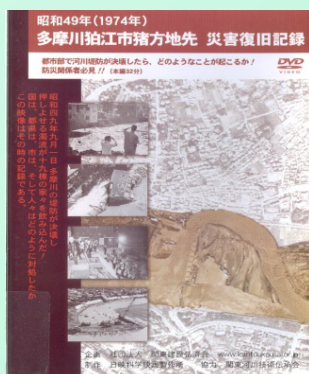
(解説:中部建設協会地域づくり技術研究所長 境 道男氏)



「昭和49年(1974年) 多摩川狛江市地先災害復旧記録」

企画:社団法人関東建設弘済会 制作:日映科学映画制作所 2005年3月 32分

昭和49年(1974年)9月1日、東京都と神奈川県の間を流れる多摩川において、大規模な堤防決壊が発生した。発生箇所は、河口から22.4km付近の左岸側、東京都狛江市猪方地先で、高水敷が台風16号の出水により大規模に侵食され堤防が決壊した。災害が、東京の住宅密集地で発生したこと、堰堤爆破という非常手段がとられたこと、などでセンセーショナルに報じられ注目された。この作品は、災害の発生に際し、どのような対応が図られ実施されたかの事実をかなり詳細に記録したものです。



98年土木学会映画コンクール優秀賞

「洪水をなだめた人々-治水と水防にみる先人の知恵-」

企画:株式会社文化工房 制作:株式会社文化工房 制作年:2005年3月 30分

はるか遠く、川は歴史の舞台となり、今も当時を写しながら悠々と流れ続けているそして、その川との深い付き合いの中でその土地特有の風土に生きる、先人達の水防の知恵と技術を映像でたんねんに追った作品です。



土木学会土木技術映像委員会では、土木技術者、学生及び一般市民を対象に土木技術及び土木事業の映像を通じた広報活動を行っております。昨年度までに49回開催し、好評を得ましたイブニングシアターを引き続き今年度も開催いたします。

なお、本上映会は、社団法人全国土木施工管理技士会連合会の継続教育(CPDS)のユニットに加算され、社団法人土木学会の技術者継続教育(CPD)の単位になります。



場所: **土木学会 講堂** JR中央線・地下鉄丸の内線・南北線「四ツ谷」駅 下車徒歩5分
参加無料

HPにて参加申込み受付

<http://committees.jsce.or.jp/avc/>

(社)土木学会土木図書館 土木技術映像委員会 担当:坂本真至
〒160-0004 新宿区四谷1丁目(外濠公園内)

TEL.03-3355-3596/FAX.03-3355-6055